

# 第4回マネ会議事録

文責:三上

2011/8/7(日) 13:00~16:15(学生会館 W506)

18:00~20:30(元気館)

議長:今原・小田・和田 書記:三上・村岡

## <F 練反省会>

### ○宮本さん(Bari)

- ・ 新勧フェスと金の卵の日程は平日の方が良い場合がある。
  - ・ 金の卵の本番までもっと時間があればよかった。
  - ・ 主に2年生はパトリに仕切りを任せすぎである。“受け身”は脱却し、もっと場に反応していくべき。
- ※レジュメを配布したので、目を通しておいてほしい。

### ○田中さん(Base)

- ・ 出欠管理をもっと徹底させるべきだった。
- ・ 特定の個人にネタを振りすぎであった(他人任せになっていた)。
- ・ やる気の問題なのか、F練が後半に差し掛かるにつれて、上級生の出席率が下がっていた。
- ・ F練飯の後の後に行く店などでは、店を自分勝手に使わないようにすべき(多人数であり、店に我々しかいない状況であったとしても、最低限のマナーは大事)。
- ・ F練飯後のカラオケ等は、行きたくなければ無理していく必要はないと感じた。無理して“嫌なこと”をやらなくていいはず。しょせん、あくまでもサークルなのであるから、無理する必要はないが、積極的には行動すべきである。

### ○馬目さん(Sec)

- ・ F練や新勧では、個人の「向き・不向き」がはっきりと分かれてしまう。しかし、自分が不向きであると自覚していても、あきらめないことが大切である。
- ・ 今までのような、テンションの高いF練が、現2年や現1年の性に合わないなら、F練のやり方を変えてしまった方がよい。今は、F練の“分岐点”である。
- ・ 上級生のやる気に差が見られ、実際、補修練等への動きにも差が出てきて

いた。

- ・ 「何もしない」という選択肢はもう無いと思ってほしい。甘さは脱却してほしい。

### ○渡辺さん(Top)

- ・ 宮本さんのレジュメを自分のパートのこととして置き換えて、よく読んでおくべき。
- ・ ワセグリは「実力」を求められるサークルになってきている。オールラウンドタイプのサークルではない。
- ・ F 練（はっちゃけ）と R 練（ガチ）のつなぎ役こそが、上級生の役目。
- ・ ワセグリは、「何かをつくること」に関して喜びを得るサークルという点で他とは一線を画している。
- ・ 人をいかに惹きつけ、どう残していくかがポイント。
- ・ 人が集まらないことの大変さも下級生に伝えていかなければならない。
- ・ 何でも覚えているうちにメモすることは大事。

### ○久島さん(学生指揮者)

- ・ F 練は時間管理が難しい（タイムテーブル等の活用は有効であった）。
- ・ 他マネとの連絡・連携が大切。
- ・ 上級生ステージのレベルがひどすぎる。事前に改善、見直しを。
- ・ 上級生が下級生を行動で引っ張る（下級生が楽譜をガン見している場面で、上級生が譜を見ないで歌っていれば、下級生の、暗譜への意識は高まる）。
- ・ 下級生にも反省点を伝え、活かしていく。
- ・ F 練は R 練に向けての「実験要素」でもある。
- ・ 音楽に対しての厳しさや、4年生の方へのマナー等、F 練の最後にでもいいから、指導していくべきである。
- ・ 良い緊張感を意識することが大事。
- ・ 出席や返事を徹底させるべきである。
- ・ ノンマネ者も、サークルの一員であることを自覚するべきである。

### ○大澤さん(部長)

※F 練反省会には出席なさらなかったが、メールで議長の方に伝言があった。  
以下の項目は、現2年の「課題」として考えてほしいとのこと。

- ・ 自分の歌唱力を上げるにはどうするか。
- ・ 後輩に対して、どのような先輩として向き合うか。
- ・ サークルの運営力向上、パフォーマンス力向上のために何をするか。

- ・ 与えられた役割（例えば、マネージャーとしての仕事）だけを果たすのではなく、上記の項目について、「どう行動すればよいか」、「今の自分に何ができるか」を具体的な言葉（声や文字）にして、同期で確認しあい、共有するべきである。

## 【質疑応答】

○F 練飯に関しての不満な点は？

- ・ 「盛り上げることの方向性を間違わないでほしい。先輩を見下すのはNGである。ひねくれないで、いつもどおりに運営してほしい。」
- ・ 「ハマリ飯において、『上級生にやられたから、下級生にやりかえす』という考えはありえない。」
- ・ 「コンパ委員だけに独走させず、他団員も彼らにうまくノっていくべき。また、コンパ委員は他人をハメるのであれば、自分で收拾をつけること。」
- ・ 「上級生もしっかり、ハマろう。」
- ・ 「出欠連絡もしっかり行ってほしい。」

○無断欠席に関しての対応（ペナルティ）は？

- ・ 「無断欠席者にGNP的なノリを強要する。」（渡辺さん）
- ・ 「無断欠席はパトリの信頼を失う。これはグリー生活において、将来キツくなる。同期からの信頼も無くなるし、居場所さえも失う可能性も。」（馬目さん）
- ・ 「ペナルティという処置は取らないが、社会人としての自覚があるのかどうかは問う。」（宮本さん）
- ・ 「ペナルティは行いたくない。直接、本人に指導する。そもそも、欠席連絡時には、理由も述べるようにしてほしい。」（田中さん）

※なお、2年“全体”では、F練反省会を行わないことが決定した。

## ＜部長演説＞

部長立候補者は、以下3名である。

- ・ 栗原
- ・ 古家

- ・ 和田

以下は、立候補者に対する質疑応答のみをまとめている（演説の内容そのものに関しては、立候補者本人の、マネ会サイトへの任意投稿を参照）。

## ○栗原への「質疑と応答」

- ・ 「このサークルに入ってから、誰かとの対立はあったか？」——「あったが、良い経験となった。」
- ・ 「現在、未納金は、いくらくらい存在しているのか？」——「各学年で30万円ほど。」
- ・ 「会計の方に、お話を聞いたが、“30万円”という話ではなかったか？」——「今の段階では、確かにその程度まではマズくないのかもしれないが、これからも、このような状態が続くのは好ましくない。」
- ・ 「『団員間のパイプ的役割』とは具体的にどのようなものか？」——「R練後のアフター等、細やかな配慮を念頭においた活動。」
- ・ 「特ステの報酬配分を、個人：サークルで5：5とするのは、会計的にも許されるのか？」——「問題ないと思う。外政の方にも話を聞いた。」
- ・ 「理想的な部長像は？」——「皆を支えられるような部長。」
- ・ 「会計会議以外にも、改善点はあるのか？」——「誓約書を公的なものとしたい。バイトの斡旋についても皆と考えていきたい。」
- ・ 「高校周りの内容に関して、思うところはあるか？／また、現在の栗原は“皆を支えている”というより、“皆に支えられている”立場なのではないか？」——「高校周りに関しては、外政と一緒に考え、働いていきたい。／人に“支えられている”立場として、他の一般団員に共感できる部分も出てくる。」
- ・ 「今までに、お話を聞きに行ったマネは？」——「部長と外政。ただ、会計制度の問題点に関しては、自分なりにもともと考えていたことであった。」
- ・ 「部長ならば、しっかりとした計画が必要であるはずだが、大まかな構想はあるのか？」——「先輩のお話はまとめてあるので、それを活かしていこうと思う。」
- ・ 「では、現時点での具体的な構想は？」——「団員のケアや、公共の場でのスピーチの質の向上（事前に計画的に考えてきたい）。」
- ・ 「今の体型では、団の“顔”として、第一印象はマイナスであると感じるのだが、痩せる気はあるのか？」——「夏休みをかけて、体重を5kg落としたい。」

- 「栗原の印象として、『部長としては優しい』というイメージを受けるのだが、優しいだけでは統率がとれなくなってしまう恐れがあるのでは？」——「丁稚等、厳しい処置も取っていきたい。」
- 「団の“顔”になる自覚は？／新勧合宿での例の事件についての釈明は？」——「自覚はある。／新勧合宿での例の事件は自身の体調面の問題の影響もあるが（デュエルデッキを徹夜で作っており、万全な状態ではなかった）、先輩からお酒を強要されたため。逃げ切れず、お酒が体にまわってしまい、あのような事件を起こすに至った。」
- 「新勧合宿での内容については、栗原自身が自分からお酒を飲んでおり、先輩からの強要は無かったと聞いているのだが？」——「先輩から何度かお酒をもらったのは事実。つがれたお酒だけは飲もうとっていた。」
- 「部長は、客観的に“見られる”立場であるが、これまでの栗原は自分に反対する人に対して明確な理由を持たずにすぐに排除しようとしてきたように思う。今後、栗原に対して対立意見を持つものが現れた場合、どのように対処するつもりか？」——「しっかり話し合うことを心がけたい。」
- 「栗原は、大澤さんの言う『トップダウン』型の部長ではなく、『調整型』の人間だと思うのだが、そのことについての考えは？」——「自分にも考えがあって、『調整型』になっている。」
- 「意見が対立した時、相手を受け入れるのか、それとも排除するか？」——「間違っている、と判断したことに関してはしっかりと相手に伝える。」
- 「部長としての“威厳”については、どのように考えているのか？」——「人前で物事をしっかりとと言えるような部長になりたい、と考えている。」
- 「現在の進路や希望職種は？」——「しっかり学業と両立していくことを考えている（教育実習を念頭に）。」
- 「教育実習と部長業務が重なった場合は？」——「高校に申請して時期もよく考慮したい。」
- 「社会科は教員になりにくいのではないかと？／部長として一般教養、英単語や言葉の能力が少し欠けているのでは？」——「倍率は高いが努力する。／頑張っって学習していく。」
- 「性格が優しい上、仕事もしっかりやってくれそうではあるが、パイプ的な役割は部長としてでなくても大丈夫ではないか？」——「部長の影響力を考慮すると、やはり団員達をまとめる、つなぐという役割は大

事であるから率先的に働きかけていきたい。」

- ・ 「部長に就いてから、“これ”をやりたい、というようなものはあるか？」  
—— 「これから、しっかり考えていきたい。」
- ・ 「特ステの人員管理、募集について何か考えはあるか？」 —— 「団員の予定調査を事前に行い、空いている人を使っていきたい。もちろん、団員のやる気加減にも考慮していく。」
- ・ 『『パイプ的役割』に関しては良いと思うが、会計・特ステ関連以外に、何か“部長”としてやりたいことは？』 —— 「団の代表として、マネの仕事の一つ一つ見て統率していきたい。」
- ・ 「サークルである、という観点から、このサークルの“強制力”についてはどう考えているのか？オールラウンド型を志向しているのか、それともガチ型か？」 —— 「“ワセグリ”としてのブランドがあると思う。その意味では、『オールラウンド型』という括りにも入らないし、『ガチ型』であるとも言えないサークルだと思う。」
- ・ 「このサークルを“拡張”していこうと考えているのか、それとも内部をしっかりと固めていこうと考えているのか？」 —— 「拡張。拡張していくことで下級生もついてきてくれると信じている。」
- ・ 「将来の会計マネ希望の方や外政マネ志望の方に一言述べてほしい。」 —— 「時間や手間はとらせてしまうかもしれないが、よろしく願いたい。」

## ○古家への「質疑と応答」

- ・ 「団員の意識を変えるための具体的な方法は？」 —— 「自分たちが下級生へ“行動で”伝えていく。“実際に動く”ことで見本になりたい。」
- ・ 「“学生”として、学業面もある程度は問題になってくる。団の代表として、下級生への影響という観点からも、しっかり学習して行ってほしい。」  
—— 「努力はするので、もう少し経過を見てほしい。」
- ・ 「部室に楽典等を置いてしまうのは（経験者と初心者では内容の理解度に大きく違いがあり）、新入生の実力に差をつけてしまうのではないか？」 —— 「実際、部長からのテコ入れは難しい。ただ、自分たち個人が、一団員として音楽知識を伝えていければ良い。」
- ・ 「古家は『トップダウン型』だが、部長（＝“事務の総括”）として技系と対立はしまいか？」 —— 「むしろ、技系にもどんどん意見を発信していけるような人材を作っていくのが役目。自分自身としては、『トップダウン型』から『調整型』にも少し移行しようという意識はある。他

人の意見もしっかりと取り入れていきたい。」

- 「昔、古家がつぶやいた『コンクールに出たい』という tweet は本気だったのか？」——「出られるレベルの演奏ができるようになりたい、という意味でのつぶやきであった。」
- 「関西学院大学の練習は、新入生練を含めて週4日であるということについて意見は？」——「関学だからできる、ということもあるのだろう。ワセグリもクオリティの高い練習日程を目指していきたい。現在の練習日程についても、よく検討すべきであると思う。」
- 「練習運営についての意見が多いような気がするが、“部長”としての構想は？」——「次世代のために学校系の特ステを増やしたい（外政ともよく話し合いたい）。また、ワセグリの風紀に関してもしっかりと整えていきたい（内政ともよく話し合いたい）。」
- 「他パートの団員とあまり話をできていなかったように見受けられるが？」——「多くの人と話すように心がけてきたはずだが？……確かに、“積極的”には話せなかったのかもしれない（無駄な世間話はあまり得意ではないので）。コミュニケーションには注意していきたい。」
- 「部長として、このサークルをどのような方向に導いていきたいか？」——「とりあえず、ワンマン的な運営は解消したい。練習系に対して皆が意見をはっきり言えるようにしたい。」
- 「なぜ、志望を練習系ではなく、部長にしぼったのか？」——「時間的拘束を考慮したため。また、自分が重要視している、音楽に取り組む“姿勢”に関しては運営側のリーダーとしての立場の方が指導しやすいから。」
- 「練習系会議にも案を出していくことを考えているのか？」——「考えている。ただ、最終決定権は指揮者とパトリにあるので、そこまで対立を起こすつもりはない。」
- 「グリーの活動は“拡張”していくべきという立場か？」——「なかなか、このご時世では“拡張”は難しいと思う。」
- 「練習系寄りでもなく、部長寄りでもない考えを持った団員が出てきた場合どのように対処するか？」——「しっかりと意見を尊重していきたい。」
- 「方針ではなく、何か具体案はあるか？」——「現段階では、思いついていない。」
- 「音楽環境を整えるにあたっては、財政面も問題になってくるのでは？」——「必要最低限の楽典・器具をそろえるだけなので、それほど金がかからないと思うので、大きな問題にはならないだろう。」

- 「皆が音楽を楽しめる環境とはどのような環境だと考えるか？」——「F練が理想形。部室に楽しい内容のCD等を置くことも検討。」
- 「“理知的な要素”と“蛮カラ的な要素”の両立についての考えは？」——「蛮カラとは、積極的に行事に参加していくような『フットワークの軽さ』を意味している。うまく、両立させたい。」
- 「行事等に『出たい』のに、忙しくて『出られない』人についての対処は？」——「何よりも、『出ようぜ！』という雰囲気づくりこそが大事だと考えている。」
- 「対外的な活動に関しての意見は？」——「広告活動を積極的に行っていきたい。コネで広告をもらっている会社以外にもアプローチしたい。可能性にもチャレンジすることが大切。」
- 「将来の練習系に対して、一言述べてほしい。」——「むやみに怒らないことが大事だと思う。」

## ○和田への「質疑と応答」

- 「集客数アップ等の“拡張”要素が見られたが、財政面で無駄な点を削減する等は考えているのか？」——「部長の立場から『企画』していきたい。」
- 「『悪しき伝統を変える』とは具体的にはどのようなことか？」——「ハンバーガー戦争や、決起コンパ等である。これらの行事は下手をすればネット等での攻撃対象にもなりえる。」
- 「『悪しき伝統』こそが、“バカだが忘れられない良い経験”になるのではないか？この経験が無くては、サークルがつまらないものになってしまうと思うのだが？」——「確かに楽しいイベントではあると思う。ただ、被災地の事情等も考えると我々が楽しんでばかりはいられない。それに、決起コンパは一種の“裏切り”であると思う。自分自身は去年、1年生として、このコンパを経験したが良い気分はしなかった。このコンパの開催には賛成できない。」
- 「和田は現在、演奏会にあまりオンステできていないように感じる。定演にもオンステできないかも、という状況は“部長”としてどうなのか？／グリーに対しての愛着は？」——「定演は全オンステできるはずだ。／グリーは嫌いではない。ただ、変えるべき点、改善すべき点はある。自分としては今までこのサークルで積極的に活動してきたつもりである。」
- 「音楽に関する運営面は？」——「パトリーズの意向を踏まえた上で、



他団員の意見も尊重したい。」

- ・ 「パート内では不和・不仲もあるようだが、他のマネージャーとうまく付き合っているのか？」——「そのつもり。“ビジネス”として割り切って付き合っていくことも大事。」
- ・ 「来年は全オンステできるのか？」——「今季は学業面にも不安を抱えており、オンステ代等の金銭面にも問題があったための、ノンステだった。来年は大丈夫。」
- ・ 「部長に就いてから変えていきたい点はどこか？」——「同期から意識を変えていきたい。熱心でない人がやや多いように思う。現3年を見習ってほしい。」
- ・ 「グリーの行事に関しての働きかけは良いと思うが、経済状況が好転したという知らせは無いのだが（F練代未納の件）？」——「連絡が遅れてしまった。これからは気をつける。」
- ・ 「『交流会を増やす』ことの意義は？」——「交流会は、ただ女子大と仲良くするだけでなく、他団と情報交換できる良い場だと思うので活用していきたい。」
- ・ 「演奏会のオンステ状況を見るに、歌に対しての積極性に欠けているように見受けられる。歌に関して、下級生とどのように関わっていくのか？／夏合宿に参加できないのは、“孫サブ部長”として少しタイと思うのだが？」——「歌の指導には最低限関わっていききたい。音楽面に関して諦めるつもりはない。／今年の夏合宿は法事等の関係で出席が難しい。お金の捻出も厳しいと判断した。」
- ・ 「歌を歌うサークルの部長として、『歌が好き』であることは大事であると思うので、よく意識して行ってほしい。／今までの和田には、厳しめのメールや表現が見受けられたり、怒りがちだったり、という部分があるようだが？」——「意識していく。／我々は社会人であるので、ある程度の厳しきは常識だと思う。自分自身、厳しさへの抵抗はないので、部長就任後もこの方針は取り続けたい。部長としては、『嫌われ役』になっても構わない。」
- ・ 「“幹事長”としての立場から見ても、合宿や演奏旅行に参加できないのは良くないと思うが？」——「金銭面の問題がある。来年のNY演旅は参加できる。」
- ・ 「今までのメール対応等を見ても、連絡の遅さが目立つのだが？」——「これから気をつける。」
- ・ 「バイトや学業との両立はどのようにするのか？」——「バイトのシフトは何とかできる。今のところは、学業関連・経済面に関してサーク

ルを優先するつもりではある。」

- ・ 「親族がグリーに対して好意的でないという事情を聞いたのだが、部長として、サークル活動を継続していくという点において、その状態は危険なのではないか？」——「私の親族は、私がこのサークルを続けて学業面や経済面でリスクが発生することについて反対している。『あくまでもサークル』という見解を持っているようだ。ただ、部長に立候補することについては、しっかりと親族と話し合った。」

## 【仮承認・非承認】

- ・ 栗原 仮承認：13名 非承認：6名 よって**仮承認決定**
- ・ 古家 仮承認：19名 非承認：0名 よって**仮承認決定**
- ・ 和田 仮承認：12名 非承認：7名 よって**仮承認決定**

## ◇仮承認・非承認の根拠

### ○栗原

#### □承認派の意見

- ・ 「承認はしたが、今後の成長を見込んでの承認なので、頑張ってもらいたい。」
- ・ 「対外的な事に関してももっと働きかけてほしい。」
- ・ 「栗原は少し子供っぽい印象を受けるのだが、やる気・熱意は感じられた。自信を持ってほしい。」
- ・ 「会計・外政関連の運営については、自分の目指していることをしっかりと実践してほしい。」

#### □非承認派の意見

- ・ 「今よりももっと成長した状態で部長に立候補してほしい。」
- ・ 「自分が引き起こしたトラブルに関してしっかり謝罪をしてほしい。部長に就くなら、団の“顔”としての自覚を持つべきである。」
- ・ 「まだ、短所を改善できていないように感じる。」

### ○古家

#### □承認派の意見

- ・ 「言いたいことがあれば、もっと自信を持って発言してほしい。」
- ・ 「もう少し、演奏面の運営に関してよく検討してほしい。」

- ・ 「古家は、仮承認結果を自分では見ないことにして、部屋の外で結果が出るのを待っていたが、しっかりと逃げずに意見を受け止めてほしい。」

## ○和田

### □承認派の意見

- ・ 「仕事をこなす能力としては、部長に適していると思う。ただ、もっともっと積極的に活動して行ってほしい。」
- ・ 「部長に就くということは、なにがなんでもこのサークルを優先しなくてはならない立場になることであるということを知覚してほしい。」
- ・ 「経済面は早く安定させてほしい。／サークル運営には、いろいろな選択肢があるということを知覚してほしい。／厳しいことを言うのは両刃の剣であることも理解してほしい。」

### □非承認派の意見

- ・ 「はっきり言って信用できない。連絡がおろそかになることはあってはならないし、決起コンパについても存続してほしいと考えているから。」
- ・ 「もっと実働的なマネに就いた方が良く感じた。また、個人的なものではあるが、家庭問題についてもしっかりとケリをつけてほしい。」
- ・ 「他のマネで頑張してほしい。厳しい性格は部長向きではない。」
- ・ 「感情面で不安定な部分が今まで何度か見られたので、非承認とした。」

## <印刷マネ演説>

現在の印刷マネ立候補者は、以下2名である。

- ・ 角野
- ・ 村田

※今回は、都合により村田が欠席したため、角野による演説のみを行った。

## ○角野への「質疑と応答」

- ・ 「ランチやチーフが行ってきた節約とは具体的にどのようなものか？」——「用紙代金とプリセットカード代金の経費削減。用紙代金に関しては、代金の安い店（ピカソ）でまとめ買いをしている。また、現在はプリセットカードの要らないプリンターを使っているため、プリセットカード代金の支出は抑えることに成功している。」
- ・ 「印刷マネどうしでの協力体制をシステムとしてつくる考えはあるか？」——「自分たちの代で、まとまった一つの印刷マネメールアドレス

レスをつくりたい。」

- 「印刷物運搬の人数に関しての意見は？」——「新勧以外の平常の活動では、人数はそれほど必要ではない。」
- 「もう少し、能力を活かしてほしい。兼任は考えているか？」——「現時点では考えていないが、検討してみる。」
- 「もし、今後のマネ会の動きで印刷マネが負担を強いられることになっても大丈夫か？」——「それは、印刷マネと他の同種マネの兼任 or 融合ということであろうか？……検討してみる。」

## 【仮承認・非承認】

- 角野 仮承認：20名 非承認：0名 よって**仮承認決定**
- ※ 角野の演説が始まる前に遅刻者1名が現れたため、この印刷マネの仮承認における母数は、部長仮承認の時のものより1名多い20名となっている。